

持続可能で活力ある 地域・まちづくりの推進

団地の役割・機能を多様化させ、地域に開かれた団地へ再生し、地域の魅力を高めるとともに、人々のふれあいや緑を大切にして、安全・安心・快適なまちづくりを進めます。
また、地方公共団体等と連携したコンパクトシティの推進や、市街地の再整備により、持続可能な都市をめざします。



「城野駅北土地区画整理事業地区」の状況(北九州市提供)



外壁
修繕前



外壁
修繕後



自然が映える配色を取り入れた外壁修繕



JR城野駅前に立地する総合病院(土地区画整理事業地区内)



人々が憩い交流する公園(土地区画整理事業地区内)



民間連携による企画提案住宅を導入

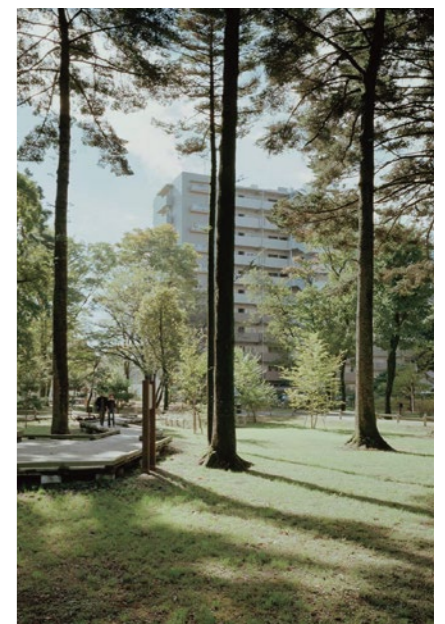


Before

建て替え前の多摩平団地(1958年撮影)



After



図書館・児童館、集会所、子ども家庭支援センター等が入る複合公共施設



駅前(JR豊田駅)のにぎわい形成に資する商業施設を誘致



子育て支援施設(認可保育園)の誘致



民間事業者による多様な住宅供給



既存住棟を活用した民間事業者による多様な住宅運営(たますびテラス)

団地再生事例① 都市再生事業と連携した地域まちづくり

城野団地(福岡県北九州市)

●広域的な土地区画整理事業と連携した団地再生事業を実施しました。●集約事業により生み出された整備敷地を活用し、高齢者支援施設の誘致を行ったほか、色彩計画を取り入れた外壁修繕や、民間連携による企画提案住宅を導入し、地域の価値向上を図っています。

団地再生事例② 少子高齢社会に対応した居住環境の提供

多摩平の森(東京都日野市)

●建替事業で生じた整備敷地には、保育園や図書館といった公共施設や、民間事業者による住宅や商業施設が建設され、複合的なまちづくりが行われており、緑豊かで歩いて暮らせるまちづくりが進められています。●建替事業を進めるに当たっては、地方公共団体・団地自治会・URがひとつのテーマについて話し合う「三者勉強会」を開催し、長年にわたる合意形成を図りながら進められました。